JEAS News

vol. 35
2021　夏号

令和3年度通常総会･記念講演会特集

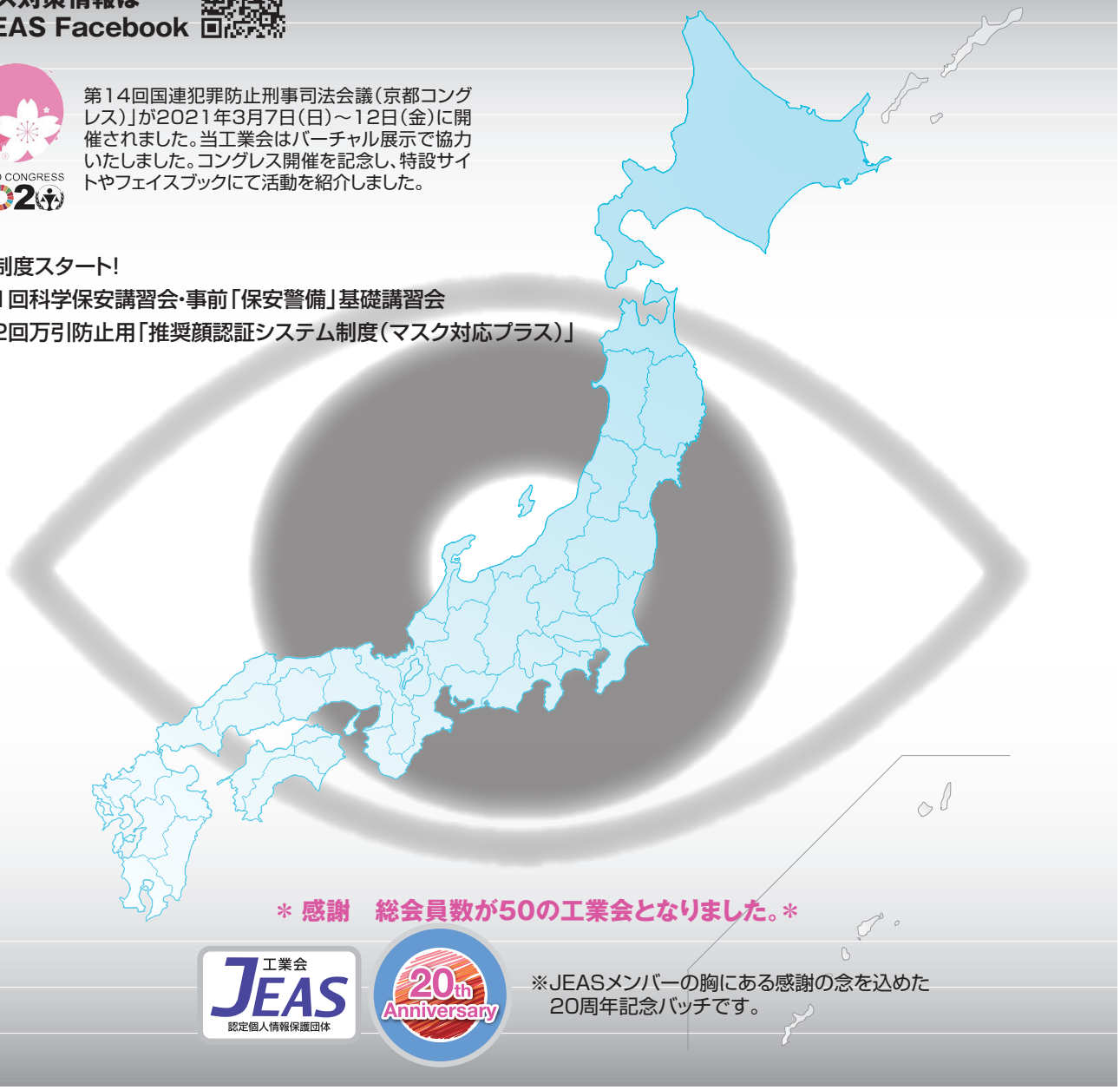
…設立20年　愛と忍耐と決意＊つながる心…

なるほど！万引防止・
ロス対策情報は
JEAS Facebook

KYOTO CONGRESS 2021

第14回国連犯罪防止刑事司法会議（京都コングレス）」が2021年3月7日（日）～12日（金）に開催されました。当工業会はバーチャル展示で協力いたしました。コングレス開催を記念し、特設サイトやフェイスブックにて活動を紹介しました。

新制度スタート!
第1回科学保安講習会･事前「保安警備」基礎講習会
第2回万引防止用「推奨顔認証システム制度（マスク対応プラス）」



＊感謝　総会員数が50の工業会となりました。＊

工業会 JEAS 認定個人情報保護団体

20th Anniversary

※JEASメンバーの胸にある感謝の念を込めた
20周年記念バッチです。

認定個人情報保護団体
工業会　日本万引防止システム協会

JEAS News

第35号

目　次

今回の会報では令和３年６月３日（木）14：00～17：00に主婦会館プラザエフ９階スズランで開催された通常総会と記念講演会を中心にお伝えします。

なお、通常総会の議案はすべて全会一致で可決されましたことをご報告させていただきます。

令和３年度通常総会議案書　https://www.jeas.gr.jp/pdf/20210603-4.pdf

EAS、カメラ分野を担当する工業会として …… 2
総会あいさつ　工業会　日本万引防止システム協会 会長　稲本義範 …… 3
総会　ご来賓あいさつ …… 4
第１部　総会・今後の活動予定 …… 5
第２部　記念講演会 …… 7
新理事あいさつ …… 10
新会員あいさつ …… 11
15分勉強会 …… 11
第14回国連犯罪防止刑事司法会議（京都コングレス）」に協力 …… 12
セキュリティショー2021に参加 …… 12
工業会 JEAS セミナー …… 13
神奈川県　高齢者万引き防止プログラム策定等事業 …… 13
工業会 日本万引防止システム協会のご案内 …… 14
工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧・組織図 …… 表３
工業会 日本万引防止システム協会 会員名簿　ご相談窓口について …… 表４

EAS、カメラ分野を担当する工業会として

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明［分野：電子商品監視機器、防犯カメラ］に関するお知らせ

（１）2017年度税制改正により、中小・小規模事業者の「攻めの投資」を後押しするため、従来の産業競争力強化法に基づく「中小企業投資促進税制の上乗せ措置」を改組し、中小企業等経営強化法に　基づく「中小企業経営強化税制」が創設されました。

（２）また、中小企業等経営強化法に基づく「固定資産税の特例措置（地方税）」においても、対象設備細目が2017年４月１日から拡充されました。

（３）当協会としては、ユーザー様及び会員の要望に応えるため、さらには「攻めの防犯」と「防犯民主主義」（http://www.jeas.gr.jp/pdf/20180307.pdf）を推進するために、2018年１月25日の理事会承認を経て2018年２月１日より本証明書の発行受付をスタートしました。

（４）さらに、2017年度税制改革により中小企業等経営強化法と2018年度生産性向上特別措置法（市町村の判断により、新規取得設備の固定資産税が 最大３年間ゼロになる）の先端設備等に係る生産性向上要件の証明証が一本化されました。当協会の会員および会員外の設備メーカーも申請できますので、ご活用ください。2018年11月５日に申請フォームが変更になっております。

（５）なお、中小企業経営強化税制につきましては、2023年３月31日まで延長されることとなりました。

詳しくは工業会ページをご参照ください。http://www.jeas.gr.jp/intro08.html

JEAS Facebook も絶賛公開中！

https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/

工業会 JEAS 認定個人情報保護団体

総会あいさつ

設立20年　愛と忍耐と決意＊つながる心

工業会 日本万引防止システム協会　会長　稲本　義範

皆様こんにちは　稲本です。ネットの皆様も聞こえますか。

本日は、工業会　日本万引防止システム協会　令和３年度通常総会・記念講演会にオンライン参加を含め、多数のご参集いただきましてありがとうございます。平成14年６月３日に設立された当工業会 JEAS は、お蔭様を持ちまして設立より本日で20年目に入りました。平成30年には経済産業省より EAS と防犯カメラ分野の工業会認定を受け、昨年９月に個人情報保護委員会認定の認定個人情報保護団体となり、万引防止システム関連に従事するあらゆる企業が参画する総会員数50法人の産業団体に成長しております。これもひとえに、会員の皆様をはじめ、関係省庁、関連団体の皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。

１点目として、概況からお話しますと、このコロナによって私たちが知っている日常は一変しました。パンデミックによって引き起こされる急激な変化を制御することはできませんが、それにどう対処するかは私たちの問題です。その問題に対処するためには、できることからやりましょう、ではなく、本気でやるべきことから実現する！という決意が必要です。そのために我々は細心の注意を払いながら、つながる心で、活動してまいりました。詳細はこの「JEAS20年史　愛と忍耐と決意＊つながる心」をご参照いただければ幸いです。世界初となるサーモカメラの安全利用の冊子作りなど、みんな本業の仕事の合間を縫っての活動だったので本当に大変だったと思います。有難うございます。本当に有難うございます。

最近の万引犯罪の状況ですが、我が国の全刑法犯認知件数に占める万引の構成比は平成14年の4.9％から令和２年の14.2％へと極端に悪化しています。またその特性として高齢者の万引犯罪割合増加、マイバック万引の多発、組織的な大量万引による高額被害事案が再び増加するなど、万引犯罪の複雑化、悪質化が定着してきています。

２点目として、万引防止システムに関して、大型商業施設や専門店チェーンでは、顔認証システムの普及が進んでおります。さらに会員各社からも中型店や小型店用の顔認証内蔵 IP カメラの提供が始まりましたので、商店街などにも普及が加速するものと思います。EAS ステッカーの出荷枚数や工業会申請数は昨年の前半は減少傾向でしたが、後半は前年をはるかに上回る勢いで成長しました。

一方で、その画像を扱う機器は、安全性と個人情報保護等の遵守が社会的要請となっております。そのため、国内外の大手メーカーが結集し、小売業向け万引防止用「推奨顔認証システム制度」を創設しました。昨年６月に、ガイドラインに基づく審査を行い、７月には合格した４社４システムを認定機種として発表しました。さらに、それらのシステムを安全にしかも的確に操作するためのスキルを持った科学保安を養成するプロジェクトを創設しました。科学保安員がより的確に来店客の応対ができる仕組みが地域社会には必要と考えます。

３点目として、調査・教育関係では、昨年10月には25名の若手社員が第６回 JEAS 講習会に参加し、業界人として必要な法的知識や技術知識を習得しました。EAS 機器の安全利用のために、昨年も北海道大学での医療機器との干渉試験の実施し、さらに本日ご列席の東京都立大学の多氣名誉教授・東京女子医大の先生方の電波の人体暴露への調査に協力しました。

会員間では、工業会 HP や公式フェイスブックや情報メールで日々多くの情報を共有しております。

そして令和３年度に向けて無人店舗・セルフレジ・業務効率化などの DX 事例の調査をする DX 推進プロジェクトの組成を行い、ユーザー様向けのロス対策メルマガ配信を開始しました。今後も安全・安心のためのつながりの輪を構築して参ります。

結びになりますが、当工業会の使命は、万引犯罪撲滅を目指すソリューション団体として、誰もが等しく安全・安心を享受できる防犯民主主義の実現にむけ、「店舗のロス・プリベンション」を軸に、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止・大量窃盗団の阻止・高齢万引の未然防止・内部不正対策・ロス対策という産業的・社会的役割を果たすことです。

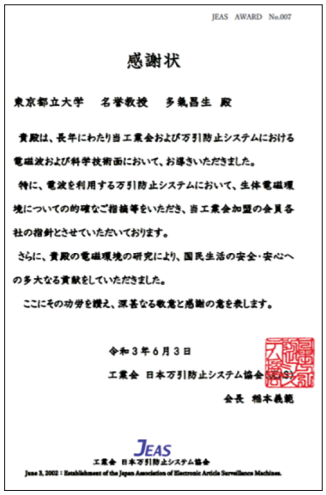
引き続き、この使命・そしてこの活動を次の時代へと紡いで参ります。結びに、皆様のますますの長寿とご繁栄を祈念し、挨拶に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

セキュリティ産業新聞５月10日号
JEAS20年史　愛と忍耐と決意＊つながる心
https://www.jeas.gr.jp/pdf/20210510.pdf

総会　ご来賓あいさつ

東京都立大学　名誉教授　多氣昌生先生

（現：国立研究開発法人　情報通信研究機構　電磁界研究所　電磁環境研究室　上席研究員）



JEAS AWARD No.007

感謝状

東京都立大学　名誉教授　多氣昌生　殿

貴殿は、長年にわたり当工業会および万引防止システムにおける電磁波および科学技術面において、お導きいただきました。

特に、電波を利用する万引防止システムにおいて、生体電磁環境についての的確なご指摘等をいただき、当工業会加盟の会員各社の指針とさせていただいております。

さらに、貴殿の電磁環境の研究により、国民生活の安全・安心への多大なる貢献をしていただきました。

ここにその功労を讃え、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

令和３年６月３日

工業会　日本万引防止システム協会

会長　根本義範

JEAS

工業会　日本万引防止システム協会

June 3, 2002 : Establishment of the Japan Association of Electronic Article Surveillance Machines

この度はたいへん名誉ある感謝状を頂戴しまことに有難うございました。私は2000年にできましたIEC/TC106電磁波の人体暴露に関する調査研究を担当する委員会の委員長を務めてきました。約20年になりますが、この協会もちょうど20年というお話がありました。その開始の頃から瀬澤（委員）さん、そして、現在は田丸（委員長）さんに代わっておりますけれど、工業会としては、本当にきちんと丁寧に、この分野に貢献いただいております。

さらに、現在は総務省の研究プロジェクトで、EAS装置から発するの電磁界の評価をやっております。それについてもたいへん協力的で、関係のいろんな調査をやっております。そういうことであり、本当は感謝状を差し上げるのはわたくしの方なんです。

この度は、このようにしていただいて本当に有難うございます。今後ともよろしくお願いします。

総務省　総合通信基盤局　電波部電波環境課　　課長補佐　梶原　亮　様

只今、ご紹介にあずかりました総務省の梶原と申します。お招きいただき有難うございます。本日は、工業会日本万引防止システム協会の総会ということでございまして、20年にわたって社会的意義のある活動を続けてこられたということであると考えております。また、サーモグラフィ・システムの普及など、コロナ禍に即した活動をしていただき、総務省の職員としてではなく、国の職員の代表としても、お礼を申し上げます。

わたくしは電波を管理する総務省に所属しておりますが、電波というのは、目には見えないということで、どうしても配慮がおろそかになってしまうようなケースが見受けられます。その点、工業会日本万引防止システム協会におかれましては、植込み型医療機器装着者への影響などを十分に配慮いただいており、あらためてお礼を申し上げます。また、本日お越しいただいております東京都立大学の多氣先生、北海道大学の日景先生におかれましては、電波を安全に使うという分野のこの国の第１人者でいらっしゃいます。そういう方々のご協力をいただいているということは大変素晴らしいことだと考えております。

現在、コロナ禍で活動を制限されることもあろうかと思いますが、引き続き精力的な活動をお願いいたしまして、わたくしからの挨拶とさせていただきます。

全国万引犯罪防止機構副理事長　樋口建史様（元警視総監、元ミャンマー大使）

捜査におけるカメラの有用性とカメラ利用にあたっての国民的理解の醸成について、警視総監時代のご苦労された事例をご紹介いただきました。

挨拶概要

https://www.jeas.gr.jp/pdf/20210712.pdf

第１部　総会・今後の活動予定の発表

・推奨顔認証システム制度の定着化に向けて　　山本 WG 長
・科学警備講習会の立ち上げについて　　青柳ＰＪリーダー
・JEAS メルマガ、ロス対策士試験、ロス対策年間チャート　　近江副会長

松崎理事（司会）　　続いて、推奨顔認証システム制度の定着化に向けてについて山本 WG 長お願いします。

山本理事　　カメラ画像安全利用推進委員会ワーキング長を昨年度担当されたパナソニック社の関口様から引き継いだグローリーの山本です。

昨年度の第１回推奨顔認証システム制度には各メーカー様のご協力を得て、製品機能だけでなく、実際の運用面や個人情報保護の配慮、セキュリティなど多面的基準を作りまして、厳しい審査が行われ、なんとか４システムが合格し、本制度をスタートすることができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

本年度はその第２回ということになります。ご承知の通り、コロナ禍の激変した環境のなかで、店舗にお越しになるお客様はマスクを付けた状態で来店されます。メーカー側もこれに対処すべく顔認証機能にマスクを付けた状態で来店されていても顔の照合ができるよう、機能追加、また新しい顔認証システムをリリースしております。スーパー、百貨店、ショッピングセンター、専門店などの皆様、そして、来店されるお客様が安心してお買い物を楽しめるよう、本年度はこのマスクを付けての検知機能を審査基準に追加しました。

本日より募集を開始しまして、審査は９月13日（月）～９月16日（木）の４日間となっております。費用面などは HP をご参照いただければと思います。 顔認証システムを製造販売する皆様の多数のご参加をお待ち申しあげております。

＊　　＊　　＊　　＊　　＊

第２回小売業向け万引防止用「推奨顔認証システム制度」

本制度の目的

推奨顔認証システム制度は、個人情報保護法を順守し、その運用が満足できるシステムを推奨します。推奨基準では、小売業の利用者が目的に合う使い方ができるように取扱説明書の記載内容を明確に指示し、個人情報の保護に関する法律に関して「カメラ画像の利活用を行なう際に注意する点を考慮」等の記載があり、性能面では誇大性能表示にならないように測定方法を明確化することなどを決めています。

顔認証システムに必要とされるシステム性能の基準を策定し、その基準に適合した機器を「推奨顔認証システム」と認定することにより、メーカーは優良な顔認証システムの開発及び小売業に安心して、ご利用いただき普及促進を図る自主認定制度です。

審査日スケジュール及び会場について

（１）　申込み受付期間　2021年６月３日（木）～８月25日（水）
（２）　試験期間　2021年９月13日（月）～９月17日（木）提携試験場にて（所在地：川崎市）
（３）　第２回認定推奨システムの公式発表　2021年10月22日（金）
　　第１回科学保安講習会会場にて

第２回　小売業向け万引防止用「推奨顔認証システム制度」PDF
https://www.jeas.gr.jp/pdf/20210603-1.pdf

松崎理事　　科学警備講習会の立ち上げについて　　青柳ＰＪリーダー　お願いします。

青柳リーダー　工業会日本万引防止システム協会（JEAS）理事会にて、「科学保安講習会プロジェクト」のリーダーを拝命させていただくことになりました青柳と申します。このプロジェクトの目的を説明させていただきます。

万引犯人を大別すると職業型と素人型の二通りに分けられ、素人型の常習犯人は日常必要な食材などを同一店舗で万引を繰り返しており、保安員が捕捉排除できるケースが多いです。しかし、職業型の転売目的、窃盗集団は短時間・大量・高額・広域で犯行に至る例が多く、警戒が難しいのが現状です。

科学保安とは、当工業会が推奨認定した最高レベルの顔認証システムを活用し、窃盗集団の顔を登録、類似した人物の来店を早期に認識し犯行の未然防止を行う保安警備を指します。それでも万引を敢行してくる人物は、保安員が警戒態勢を取り、犯人を捕捉（現行犯逮捕）します。さらに東南アジア系犯罪グループのように組織的広域的な窃盗団には警察力の行使が必要になっており、犯罪の立証のためには現場を担う科学保安員が日頃からデータ分析力を養っておく必要があります。

昨今はネットオークションやフリマアプリ、フェイスブックなどのＳＮＳでの情報が万引犯行を助長する時代です。万引品が安易にそれらの転売サイトで取引される前に、店舗側で万引が出来ない環境作りを行っておくことは店舗の安全を護る警備員の使命です。その使命を真にまっとうするためにリーダーをお引き受けしたしだいです。

科学保安講習会プロジェクトは、カメラ画像安全利用推進委員会を構成する顔認証システム開発メーカーと技術力に長けた保安員と施設警備員が最新情報を学び合うプロジェクトです。

次世代を担う科学する保安警備員を育成するために、JEAS 各社と個人情報保護という大前提を担保しながら、警備業務の飛躍的な生産性向上を目指した科学保安講習会を10月22日（金）に開催する予定です。皆様の忌憚の無いご意見をお待ちしております。

＊　　＊　　＊　　＊　　＊

「第１回科学保安講習会」概要

１．目的

JEAS 推奨顔認証システムを使って、効果的に安全に保安業務を遂行（分析や会議報告も含む）できるようになる。併せて、JEAS 認定個人情報保護団体ページの各冊子を完全理解していただくことを目指します。

２．日時と会場

日時：10月22日（金）13:00～17:00

会場：YOTSUYA TOWER ７階 高千穂交易㈱ セミナールームまたは Teams 参加

３．対象者：保安業務、施設警備業務、防犯・総務系業務、 LP サポートに関わる方々

４．発行予定の修了証と店舗告知 POP

第１回科学保安講習会 PDF

https://www.jeas.gr.jp/pdf/20210603-2.pdf

事前「保安警備」基礎講習

保安警備業務の手引　第２版　講習会スケジュール

日時　９月17日（金）14:00～16:00にオンライン＜ Teams> で開催

必携テキスト：保安警備業務の手引　第２版注文書（Excel）

詳細 :https://www.jeas.gr.jp/pdf/20210603-3.xls

松崎理事　　JEAS メルマガ、ロス対策士試験、ロス対策年間チャートについて、近江副会長よりお願いします。

近江副会長　　今ほど、青柳リーダーより、お話があった JEAS メルマガの６月９日号はロス対策士試験についての配信が予定されています。ロス対策年間チャート2021年度版は６月15日に最終版を発表される予定です。ロス対策メルマガで皆様のロス対策年間チャートの最新版のお送りする所存です。ロス対策は何よりも正しい情報が命です。その情報のライフラインを果たすのがロス対策メルマガですので、皆様、ご登録をお願いします。過去の配信もアーカイブされています。

「ロス対策メールマガジン」登録　https://www.jeas.gr.jp/mail.html

※なお、ロス対策士の最新情報は万防機構のホームページをご参照ください

松崎理事　JEAS ではこれ以外に、 DX 推進プロジェクトが発足し、三宅の田中崇リーダーを中心に活動を開始しました。主席アドバイザーとして、セキュリティ産業新聞社　編集長　野口勇人氏が参加されることが決定しています。

第２部　記念講演会

通常総会の第二部ではお二人の識者にご講演いただきました。そこでその要旨を紹介します。最初は東京都立大学人文社会学部助教の掛川直之氏に「万引きを生きる手段にさせないために～犯罪行為の背景に目を向ける」と題してお話をいただきました。

１．“万引きを生きる手段にさせないために―犯罪行為の背景に目を向ける

東京都立大学人文社会学部助教　　掛川　直之　先生

刑法犯認知件数検挙人員数は右肩下がりで推移している。つまり全体としての犯罪件数は減少しており、それ自体は歓迎すべきものであるが、一方で問題点もある。ここでそれを指摘しておきたい。第一に再犯者が多いこと、第二に高齢犯罪者の増加、そして知的障害者の比率が高いことである。

その結果として服役者の中にシルバーグレーの高齢者や知的障害者の比率が高くなっている。その理由は資力が乏しい、コミュニケーション能力に欠ける、また人脈がない（つまり社会的に孤立しがちである）人が刑務所に収容されやすい為である。そして貧困と社会的排除のスパイラルから抜け出せない者が再犯者になりすいのである。

最近の報告では、出口支援・入口支援の両方で福祉支援を行う事でこのスパイラルを断ち切ろうとする動きがでてきている。では、なぜこのような支援が重要なのだろうか。

受刑者の１日の生活は刑務所側で時間割が決められている。外部との接触をたっている為、自立的行動が認められていない。刑務作業で得られる収入は年間４千円程度であり出所後の生活資金が不足している。このような状態となる背景には、犯した犯罪に対する刑務所のあり方にある。

刑務所が受刑者を「真の犯罪者」にするという研究がある。その研究によれば、反社会的な知識概念、信念や態度をそこで学び、共有する逸脱的文化を生む「犯罪者化」、特殊な規則や文化、刑務所社会で期待されるものなどをそこで学習することになる「囚人化」が起こっているという。それは一般社会とは相容れないものであり、当然のごとく一般社会への適応はより困難になる。その結果、自由もないが、一方で不自由もない刑務所に戻ってしまう流れができてしまうのだ。生活困窮が万引を行う動機となる場合は福祉的支援が必要であり、一方で認知症が主要な原因の場合は医療的支援が必要となる。出所者に対するソーシャルワークに必要な視点として、犯罪行為の背景に目をむけ、犯罪行為そのものだけではなく犯罪行為をおこなった人の背景に関心をもって、サポートをしていく事が重要である。

犯罪を犯したものはその罪を贖うべく刑務所に入れるべきであるという考え方は必ずしも犯罪を減らすことにはつながらない。むしろ受刑者への支援が重要であり、地域での生活を支える為に、支援者がその人の特性を理解し、社会に定着できるような人間関係の形成がより重要である。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

お二人目は国立研究開発法人　新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の前北京事務所長である髙木重孝氏で、「コロナで進展した中国の技術・社会変容」についてお話いただきました。

２．“ コロナで進展した中国の技術・社会変容 ”

国立研究開発法人　新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

前北京事務所長　髙木　重孝　様

遠隔生体認証技術は、カメラだけではなくシステム全体、特に根底を担っているのはＡＩ技術であり、中国はこの技術領域について非常に強いと認識している。

まず、中国政府の第14次５カ年計画・2035年までの長期目標について概要を説明する。経済成長は年率６％以上を目標とし、科学技術イノベーションを重点政策としている。具体的には、第一に半導体などを含めた主要産品のサプライチェーンについては自国で構築する事、第二に環境面においてカーボンニュートラルにも取り組む事、を掲げている。

具体的な内容であるが、産業技術・関連項目としてハイエンド製品・スマート製造・ロボット・エンジン・宇宙・サイバー・ＡＩ・量子コンピューティングなどの分野で網羅的にコア技術の掌握を謳っている。科学技術・デジタルまわりについては特に注力していることが窺える。

昨年の５月から数多くの通達が出ているものとしては、①モバイル関連、②ビックデータ関連、③標準化インターネットに関するものであり、５Ｇの基地局が80万基にのぼる事から、５Ｇの実装を促進する動きとみられる。一部地域・産業だけではなく、これらの取り組みを中国全土で行う実証プロジェクトが多く進められて

いる。関係業界では、2025年までに、最新技術インフラや産業インターネットネット網の整備（スマート製造）関連で10兆元（邦貨で約170兆円の投資が見込まれている。

インターネットプラットフォームを構築する為に、中国国内の産業や一般生活サービスのデジタル化をさらに進めており、アリババなど大手プラットフォーマーが中心となり、クラスターをつくりながら、工場と工場の接続などを進め、オートメーション化やクラウド化の事業を推進している。これらの取り組みは一部地域だけではなく、全土でバランス良く配置されている。

また、スマート製造についても同じような傾向となっている。コロナ禍の影響により①オンライン医療、②オンライン教育、③ライフコマースなどの分野でのビジネスが加速しており、ユニコーン企業が2020年上半期だけで22社が生まれており、特に医療・健康・工業の分野での動きが活発になってきている。ロボット・ドローン・自動運転（レベル４段階）の実証実験も盛んに進められている。

中国の人流管理ツールの発展が目覚ましく、今年に入ってからＣＯＶＩＤ－19のクラスターが発生するケースは非常に少ない状況にある。中国のＡＩ分野における論文数では世界２位であり、市場規模も2022年には30％の成長率になる見込みである。金融やセキュリティの分野で特に多くＡＩが活用されている。他方、ハード分野においては半導体のチップは世界４％のシェアで、脆弱な部分も残っている。AIガイドラインには社会倫理・プライバシーへの配慮について一文が組み込まれている。中国は遠隔生体認証技術の特許を多く取得しており、安全保障・防衛・金融・セキュリティの領域で６割程度活用されている。中国における監視カメラは、既に４億台程度設置されていると言われている。監視カメラを使ったデータ収集について政府・公安の立場から治安維持が最大の目的であり、そのためのビデオ監視システムのプロジェクトが進められている。監視と情報記録をリアルタイムで行っており、ＩＴ企業と連携しながら中国全土に10秒程度で個人を特定できるシステム網を展開している。

このような遠隔生体認証技術の公共空間での使用については、中国では容認されているが、ＥＵではプライバシーの観点から問題視しており、日本でも抑制的に検討されている。また、顔認証技術より進んだ技術である歩容認証（姿勢の違いや歩幅の違い，腕の振りの大小，肩掛け鞄などを決まった側で持つことによって習慣付いた動きの左右非対称性などの特徴を使い，個人を認証する）技術の活用についてはさらなる注意が必要である。顔認証は５メートル地点で３方向から測位しなくてはならないのに対し、歩容認証は50メートル地点から遠隔特定できるとされる。この技術については中国が世界トップレベルの技術を既に有しており、公安のシステムにも組み込まれている。

一方でアリペイなど民間事業者の個人データ取り扱いについては規制が強まってきており、個人の同意なく情報を取得する事を当局が取り締まりを実施している。個人データの収集については、ＥＵは規制が最も厳しく、中国と米国は現時点で包括的な個人情報保護法がなく、法的な保護レベルが低い状況下で利用が進んでいる。今後のデータビジネスにおいても、個人データの取り扱いについて明確なルール化が進まないと、ビジネスにおいて、この点が大きな障害になることが考えられる。

日本では個人情報保護法や丁寧に作り込まれたガイドライン、QAなどが存在し、共通のルール化を進めているがポイントである。万引防止の所定のプロジェクトや成田空港での顔パスでのチェックイン手続など、必要性と利便性があり、かつ特定空間に限られ、本人がそれを使いたい場合には使えるといった具体的かつ丁寧なやり方を進める事によって、安全に社会に拡げる事ができる。このような官民が協力したルールづくりは日本の得意な分野であり、このような事例は日本モデルとしてアジア全体に拡げていくことも有意義と考えられる。今回発表された工業会日本万引防止システム協会の取り組みについては、継続して行って頂きたい。

新理事あいさつ　　創立以来はじめての女性理事就任

理事（総務委員会）　　マイティキューブ（株）　代表取締役社長　本川勝広氏

この度、新たに理事に就任しました本川でございます。なにぶん初めての役割で、至らぬ点が多々ございますが、何卒、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

防犯を切り口に、安心安全な社会の実現を目指していきたいと思います。微力ではございますが、協会を通じて、１社ではできない業界全体の取り組みについて、お役に立てればと思います。

理事（総務委員会）　ＮＥＣソリューションイノベータ（株）　九州支社第二グループ　主任　上野順子氏

長い歴史を持つ本協会で、諸先輩方もいらっしゃる中、理事と言う大役を拝命し、身の引き締まる思いです。思い起こせば、私の万引防止との出会いは、もうずいぶん昔、高校時代のバイト先のショッピングセンターで店内放送を担当していた時の警備員さん呼出しの隠語まで遡ります。

現在、自社では顔認証システムを担当していますが、お客様先を訪問する中で、某量販店の方から伺った「ロス対策には頭も心も痛めている」と言う言葉が鮮明に残っています。

微力ながら少しでもお役に立てればと思っておりますので、皆様ご指導のほど、よろしくお願い致します。

理事（カメラ画像安全利用推進委員会）　　（株）ＧｅｏＶｉｓｉｏｎ　企画営業部チーフ　桑原春奈氏

この度、理事に就任いたしましたGeoVisionの桑原です。

この業界に入ってまだ５年。社内では企画営業部に所属し、営業活動とお客様向けのイベント・資料の企画などに携わっていますが、日々の業務もまだまだ勉強の毎日。

最近では弊社が注力している、 JEAS認定の顔認証システムを含めたAIソリューションをご紹介するウェビナーを開催する為の企画・運営の一端を担っておりますが、初めてのウェビナー企画のためメンバーと四苦八苦しながら協力して進めております。

未だ業界での経験も知識も不足している私にこのような大任はと当初は驚き躊躇しましたが、チャンスととらえ鋭意専心して参ります。宜しくお願い致します。

理事（個人情報管理室）　　（株）ゴジョウ・ウェイズ　代表取締役社長　佐藤賢二氏

弊社は「生活安全産業」の一翼を担うべく、犯罪のない安全で安心な北海道を目指し３年前に創業いたしました。さて、1868年の明治維新から、はや、150年が経過いたしました。北海道の新たな歴史は、（翌年1869年）同時期に松浦武四郎が北海道（北加伊道）と命名したときから始まります。先行きの不透明なこの時代を・「防犯民主主義」という御旗の元に結集いたしまして乗り切ってく。・「先人がお示し下さった熱い思い」を未来へ継承していく。ことが大切と実感しているところでございます。JEAS会員の皆様と手を携えて、お知恵を拝借させていただきまして、まずは広大な北海道の大地から、安全・安心という「ともしび」をひとつひとつ照らしていきたいと存じます。

～一燈照隅　万燈照国　⇒　最澄～　　どうぞ宜しくお願い申し上げます。

内藤正美氏（感謝状贈呈）と新理事と新会員

新規会員あいさつ

正会員

earth eyes®　アースアイズ株式会社　代表取締役　山内　三郎

アースアイズは、五感 AI というコンセプトのもと、人を守り、こころを豊かにする AI 防犯カメラシステムを開発しております。

現在、万引きを未然に防ぐ AI 防犯システム「AI 大魔神」「AI ガードマン」の販売を展開しております。AI システムで不審者を検知、従業員へ通知して効率よく声掛けをしていただくことで、万引き抑止・店舗ロス削減につながります。

また 3 密回避のための「ソーシャルディスタンスカメラ」も好評販売中です。

万引きを減少させたいという「想い」をひとつに、皆様と共に歩んで参ります。

AWL　AWL 株式会社　代表取締役社長　兼　CEO　北出　宗治

AWL（アウル）は、エッジ AI カメラソリューションを提供する北大発ベンチャー認定企業です。

実店舗運営・接客で培ったノウハウを活用し、新しい顧客体験、ビジネスモデル、生産性向上を、業種にとらわれることなく、幅広く普遍的なサービスとして提供しています。

独自の AI エッジコンピューティングデバイス「AWL BOX」と、スマホやサイネージにインストールして使える「AWL Lite」により、既存の防犯カメラやデバイスを簡単に AI 化し、防犯、マーケティング、接客支援、業務の効率化を実現します。

安心・安全で夢のある豊かな未来を切り拓いていけるよう、ご支援いたしますので皆様宜しくお願い申し上げます。

賛助会員

asia 亜細亜印刷　亜細亜印刷株式会社　代表取締役　藤森英夫

弊社は創業以来、専門書、学術書等の書籍印刷を主力に事業を行って参りました。営業拠点は東京、京都で北は北海道から南は沖縄と全国展開しています。現在使用されていない漢字や梵字などを含めページレイアウトをして文字を組んでいます。

また、第41回技能五輪ロンドン国際大会オフセット印刷職種で金メダルを獲得し、若手人材の育成にも力を入れています。『どんな難しいものでもやり遂げる』をモットーに、活字の時代から続く高い品質に努め、皆様に必ずご満足のいく製品をお届け致します。

私たちは『ものづくり』を通じて豊かな地域や社会づくりをサポートさせて頂きます。

15分勉強会

■2 月 5 日（金）15分勉強会は、株式会社アスタリスク代表　鈴木規之氏に「画像認識による人検出と動体追跡技術」ついて教授いただきました。理事会過去最高の40名程の参加がありました。資料は会員ページのd_27にあります。

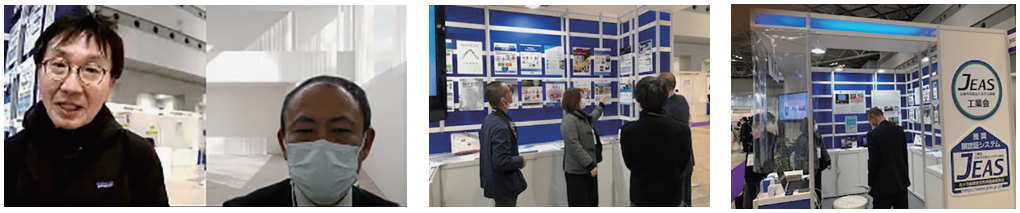
■4 月23日（金）15分勉強会は、DX 推進プロジェクトのリーダーに就任した田中　崇氏より「スーパーマーケット白書の要点」について発表いただきました。資料は会員ページの d_28にあります。

第14回国連犯罪防止刑事司法会議（京都コングレス）」に協力

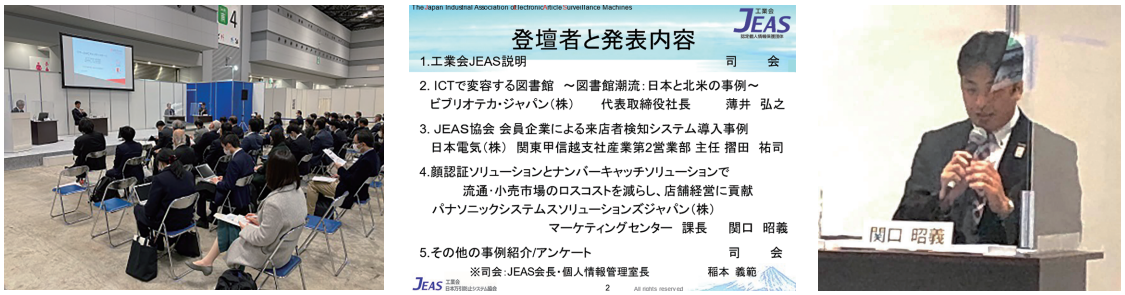
第14回国連犯罪防止刑事司法会議（京都コングレス）」が３月７日（日）～12日（金）に開催されました。当工業会はバーチャル展示＆工業会動画で協力いたしました。コングレス開催を記念し、特設サイトやフェイスブックにて活動を紹介しました。その御礼として法務省より記念品を頂戴しました。

セキュリティショー2021に参加

３月９日（火）～３月12日（金）セキュリティショー2021にブース出展しました。前日８日（月）の夕方会場から Teams で中継しました。現地からコメントをいただいたブース制作担当の小林様（BOX１）と日本経済新聞の石井様です。開始前日から盛り上がっておりました。



３月９日（火）13時から JEAS セミナー「小売業等のデジタルトランスフォーメーション＆ロスプリベンションの最新事例」を開催し、リアルとオンラインから約300名の皆様にご参加いただきました。



３月11日（木）総合防犯士会セミナー「商業施設の防犯対策」には稲本会長が登壇し、３月12日（金）全国万引犯罪防止機構セミナー「新しい時代のロス対策・万引対策」には近江副会長と稲本会長が登壇しました。

工業会 JEAS セミナー

■ロス対策テキスト販売を記念し、万防機構監修の教育ビデオ「日経・お店の万引き対策ビデオ」の上映会をオンライン開催し、約20名の方々が参加し、意見交換交換を行いました。来年以降、４月上旬にはこのビデオの上映会を行おうということになりました。

日時：４月７日（水）17:00～17:45

■工業会業務開始　５周年記念行事として JEAS「情報システム・モデル取引・契約書第二版」セミナーを第１回５月12日（水）、契約書の基礎知識編、第２回５月19日（水）モデル契約解説編を開催し、延べ40名を超える参加がありました。資料は会員ページの c_24と c_25に格納されております。DX 推進に必要なビジネス法務なので定期的に開催したいと思います。

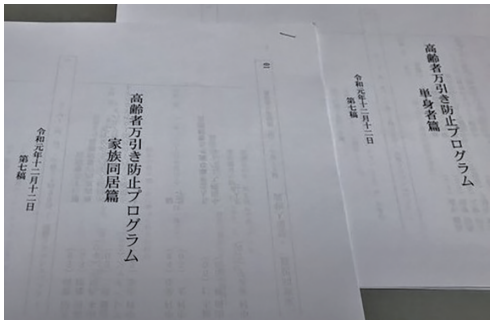
目的 :DX 推進を通し、ユーザー企業、IT ベンダが双方の間で新たな関係を構築するため。

日時：第１回５月12日（水）８:30～10:00　第２回５月19日（水）８:30～10:00

講師：講師：東京丸の内法律事務所　弁護士　村田和希　先生

契約書全体チャート例 :https://www.jeas.gr.jp/pdf/20210519.pdf

神奈川県　高齢者万引き防止プログラム策定等事業



撮影に使われた台本

万引きをして警察に検挙される高齢者の割合が増えていることを受け、神奈川県は防止プログラムを策定されました。背景に家庭内や地域での高齢者の孤立があるとされる点に着目し、本人だけでなく家族にも理解を呼びかける「冊子」や「動画」を作成。万引きを未然に防ぎ、検挙された高齢者の再発防止につなげるツールとなっています。この制作にあたっては万防関係者の多くの叡智が入っています。

「神奈川県　高齢者万引き防止プログラム策定等事業」で検索いただき、ご覧いただければ幸いです。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

編集後記・事務局だより　本会報が発行されるタイミングでは、東京五輪大会が開催され、コロナ禍で沈んだ日本の皆様の気持ちが、少しは明るくなっていることと思います。今回、協会設立20周年の記念特集ということで、事務局からのコメントを掲載していただけること、光栄に存じます。

私は、稲本会長の後任として、平成30年６月の総会にて事務局を拝命しました。その後、協会 Facebook の立ち上げなどに関わらせていただきました。

協会 Facebook では、日々の万引犯罪の情報や監督省庁からの情報発信などを皆様へ共有させていただいております。この Facebook は、皆様のおかげで、ようやく50フォロワーを達成しました。

今後とも皆様の安心・安全のための活動を継続しておこなってまいりますので、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

理事・事務局長　田丸典億

工業会 日本万引防止システム協会のご案内

工業会 日本万引防止システム協会は、EAS 機器等の万引防止システムを製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体とともに連携をとり活動しています。

■目的

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために、万引防止システムの円滑な普及・発展に資する制度・政策・計画等の建議と実行、行政機関・関連業界団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整、万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とする。

■会員の種別

（1）正会員

本会の目的に賛同して入会した次の企業および団体とする

●万引防止システム製造ないし販売している企業および団体

●今後、万引防止システムを販売ないし提供しようとする企業および団体

●万引防止に関連するサービスを提供する業界（警備業等）や関連業界（防犯カメラ設備等）に属する企業など

●万引防止システムを販売ないし提供する企業に対し商品や部品の供給事業を行う企業および団体

（2）賛助会員

本会の事業を賛助するために入会した次の企業および団体とする

●小売業に商品供給しているメーカーおよび 物流企業

●小売業にサービスを供給している企業および団体

（3）特別会員

本会の目的に賛同し、協力をする団体会員

■会費（2019年 6 月 6 日改訂）

	年間売上金額	年間会費　万円
正会員　①	40億円以上	33
②	20億円以上、40億円未満	28
③	10億円以上、20億円未満	22
④	5 億円以上、10億円未満	17
⑤	3 億円以上、　5 億円未満	13
⑥	1 億円以上、　3 億円未満	11
⑦	1 億円未満	9
賛助会員		4
特別会員		無料

基本は内部不正対策などを含むロス対策に関わるシステム販売の年間国内売上に応じた年間会費とする。

■入会条件、入会申し込みはこちらのサイトをご確認ください。

http://www.jeas.gr.jp/intro06.html

新規入会企業および団体を募っています。

◎万引防止システムを製造ないし販売している企業の皆様

◎万引防止対策やロス対策を担当している警備業や防犯カメラ設備に属する企業の皆様

◎生産性向上や危機管理の分野で流通業をサポートされている企業の皆様

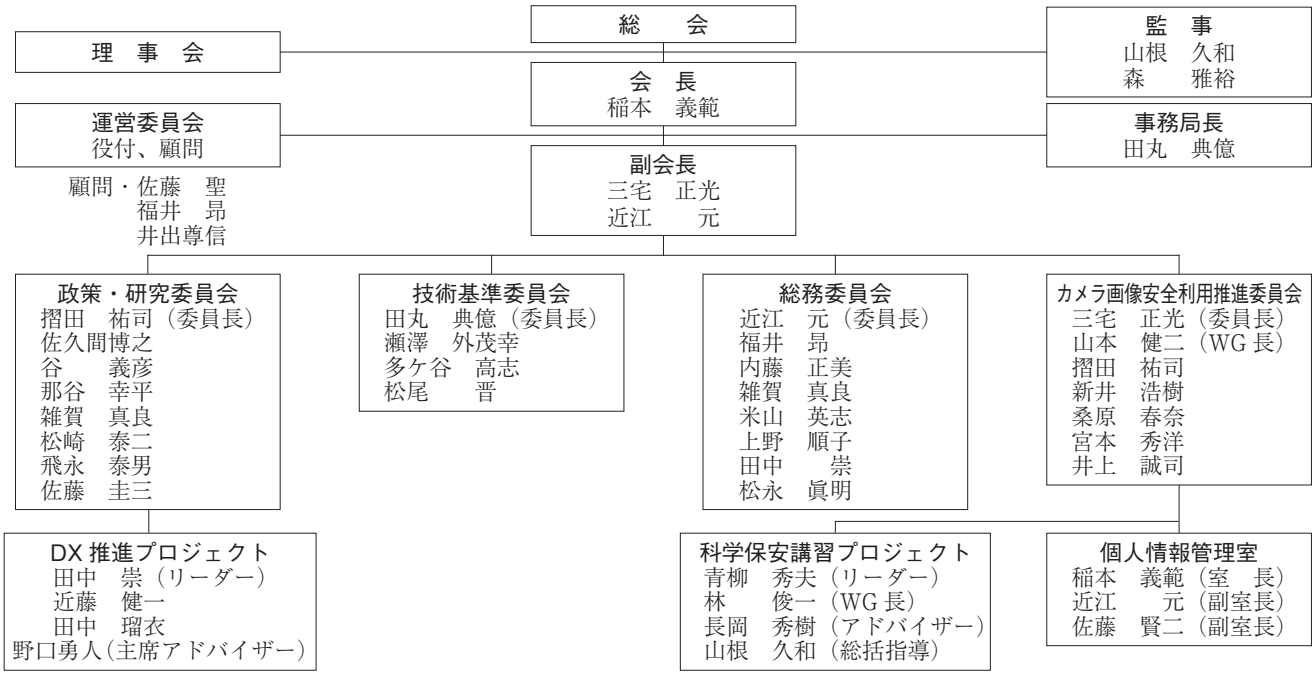
令和３年度　工業会　日本万引防止システム協会　役職一覧

No.	工業会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易（株）	事業開発室	稲本義範
2	副会長	（株）　三宅	代表取締役社長	三宅正光
3	副会長	NPO 法人 全国万引犯罪防止機構	理事　LP 教育制度作成委員長	近江　元
4	理事 （政策・研究委員会）	IDEC ファクトリーソリューションズ（株）	EAS 事業本部　本部長	谷　義彦
5	理事 （政策・研究委員会）	キャトルプラン（株）	代表取締役社長	佐藤圭三
6	理事 （政策・研究委員会）	（株）セキュリティデザイン	資材購買部長	那谷幸平
7	理事 （政策・研究委員会）	（株）店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
8	理事 （政策・研究委員会）	日本電気（株）	関東甲信越支社 産業第二営業部	摺田祐司
9	理事 （政策・研究委員会）	ビブリオテカ・ジャパン（株）	営業部部長	松崎泰二
10	理事 （総務委員会）	マイティキューブ（株）	代表取締役社長	本川勝広 （新任）
11	理事 （総務委員会）	（株）オカムラ	商環境事業本部 セールスサポート部	雑賀真良
12	理事 （総務委員会）	（株）エイジス	新規事業推進室長	米山英志
13	理事 （総務委員会）	ＮＥＣソリューションイノベータ(株)	九州支社第二グループ　主任	上野順子 （新任）
14	理事 （事務局長、技術基準委員会）	タカヤ（株）	事業開発本部ＲＦ事業部 営業部ＳＳ担当マネージャー	田丸典億
15	理事 （カメラ画像安全利用推進委員会）	グローリー（株）	国内カンパニー営業本部　画像認識ソリューション推進統括部　生体・画像認識販売企画部　販売企画グループ　グループマネージャー	山本健二
16	理事 （カメラ画像安全利用推進委員会）	（株）ＧｅｏＶｉｓｉｏｎ	企画営業部チーフ	桑原春奈 （新任）
17	理事 （個人情報管理室）	（株）ゴジョウ・ウェイズ	代表取締役社長	佐藤賢二 （新任）
	監事	Matsuo Sangyo（株）	執行役員統括部長	森　雅裕
	監事	セフト HD（株）	代表取締役社長	山根久和

敬称略・順不同

顧　問　佐藤　聖（一財）流通システム開発センター　元調査部長、福井　昂　マイティキューブ（株）
井出尊信　高千穂交易（株）代表取締役社長

令和３年度　工業会　日本万引防止システム協会　組織図



20th Anniversary

愛と忍耐と決意＊つながる心

工業会 JEAS 認定個人情報保護団体

愛するお店・地域の皆様のお役に立ちたいという会員総意の決意
“つながる心”をもって、進むべき道を決めてきた
20年もの歳月、支え続けていただいた皆様への感謝、という燈明を持って
つながる心で、この道を照らし歩き続けていく

～ 防犯民主主義実現に向けて ～
EAS機器と防犯カメラとロスプリベンション推進のための工業会

工業会 日本万引防止システム協会

正会員（正会員数　33社）

アイアンドティテック㈱
IDECファクトリーソリューションズ㈱
AWL㈱
アクシスコミュニケーションズ㈱
アースアイズ㈱
アドセック㈱
㈱エイジス
㈱SGI
NECソリューションイノベータ㈱
エム・ケー・パビック㈱
㈱オカムラ
㈱キャトルプラン
㈱杏林社
グローリー㈱
㈱ゴジョウ・ウェイズ
㈱KSM
サクサ㈱
㈱セキュリティデザイン
CIA㈱
㈱GeoVision
シグマ㈱
セコム㈱
セフトHD㈱
高千穂交易㈱
タカヤ㈱
チェックポイントジャパン㈱
㈱店舗プランニング
日本電気㈱
パナソニックシステム ソリューションズジャパン㈱
ビブリオテカ・ジャパン㈱
マイティキューブ㈱
Matsuo Sangyo㈱
㈱三宅

お蔭さまで全会員数が50組織になりました。

賛助会員

㈱アスラボ
亜細亜印刷㈱
沖電気工業㈱
㈱自己啓発協会
三愛化成商事㈱
チェスコムアドバンス㈱
㈱日本保安
㈱ロケット
㈱JSS
サニーヘルス㈱

特別会員

公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO法人 全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人 リテールAI研究会
タグ&パック事務局

（2021年7月8日現在）

JEAS委員会組織

カメラ画像安全利用推進委員会　委員長・副会長 三宅 正光

推奨顔認証システム ステッカー

小売業や物流現場のカメラ画像の効果的な利用状況やセキュリティ対策を調べ、システム提供者側の販売指針を発表することで、カメラ画像の適切な利用促進に向けての環境整備を行う。平成28年度に「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め」を制作。令和2年に推奨顔認証システム制度をスタートさせた。

技術基準委員会　委員長・事務局長 田丸 典億

EASステッカー

平成20年10月、EASと医療機器との干渉試験を実施することになり、その方法等の内容を検討し実施するために、技術基準委員会が設置された。
①対ペースメーカー等との干渉実験
②電磁界測定　③電気用品安全法対応
④各種の基準作り

政策・研究委員会　委員長・理事 摺田 祐司

JEASとして、取り上げるべき問題・課題の検討を行い、その結果を委員会の責任において、行政機関・関連団体・報道機関等に対し建議および提言・アピールを行う。
調査研究事業として、わが国における万引防止システムの普及推進のための必要な調査研究及び会員の基礎教育を行う。

総務委員会　委員長・副会長 近江 元

工業会全般のスタッフ業務と工業会を司る。事務局と密接な関係を保ちながら主として次の業務を行う。会計、広報、渉外、規約の起案と見直し、他の委員会に所属しない業務を専門的に行う。国内情報・海外情報を広く収集し、必要に応じてそれらをとりまとめ、国の内外へ広報する。「15分間勉強会」や「業界で活躍する女性」が好評につきシリーズ化した。

理事会・運営委員会　会長・個人情報管理室長 稲本 義範（総合防犯設備士、公認不正検査士、万引き防止責任者養成講座担当講師）

工業会 日本万引防止システム協会会報第35号

□発行日：2021年7月15日　□発行人：稲本義範
□発行：工業会 日本万引防止システム協会 事務局

〒160-0004　東京都新宿区四谷1-6-1　YOTSUYA TOWER 7階
TEL：03-3355-2322　FAX：03-3355-2344
ホームページ　https://www.jeas.gr.jp/
フェイスブック　https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/
メルマガ　https://www.jeas.gr.jp/mail.html

法人番号：9700150096387　※当工業会は昨年5月25日に住所変更しました。

ご相談窓口について

工業会 日本万引防止システム協会では、万引防止システム全般に関するご相談の窓口を開設しております。
ご相談窓口では、皆様からのEAS機器等の万引防止システムに関するご質問、ご相談、苦情などをお受けしております。
ご連絡先は、左記の工業会 日本万引防止システム協会事務局宛となります。